

これからの学校教育への期待と自然保育

1月9日(土)
10:00~12:30

講演者：汐見 稔幸氏

信州型自然保育認定制度が始まって5年。自然の中で、子どもたちがのびのび遊び込む姿や主体的な活動内容に関心が集まり始めた一方で、小学校への接続や、幼児期からの一貫した子どもの育ちに対し不安感があるという声があるのも事実です。今回は「自然保育」という視点から、今後の学校教育の展望や未来を考えることを目的とし、汐見先生のお話を伺うこととなりました。当日は、講演後に、グループに分かれ振り返りディスカッションも予定しております。是非、皆様ご来場下さい。

会場：安曇野市明科公民館
(安曇野市明科中川手栄町6824-1)

参加費：1000円

定員：100名 *託児はありません

参加対象：保育者・教員・保護者・やまほいくに関心のある方

申込方法：【氏名・所属・役職(立場)・連絡先】を明記の上、

yamanoasobiya@gmail.com

汐見稔幸後援会事務局、までお申込下さい。

〈会場案内〉

〈講演者プロフィール〉



汐見稔幸氏。
日本保育学会会長、東京大学大学院教育学研究科教授や白梅学園大学教授・学長など歴任。教育学、子どもの発達の人間学（教育人間学）、特にことばと人間形成を専門とする教育哲学者の1人。わかりやすく、ユーモアに溢れた講演会内容は、教育現場で働くプロの教育者から子育て中の親まで、幅広く支持されている。

主催：長野県野外保育連盟

共催：安曇野市

後援：長野県